

第6章 経済

基本施策6-01 観光

施策6-01-01 観光力の強化

施策の展開方向①観光資源・施設の整備・充実

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
コミュニティビジネス支援事業	奈良の地域特性を生かしたビジネスの起業支援、特に若者による新規起業をメインに、広く支援し、新たな雇用の創出を目的とする。 起業家の発掘と育成を行うもので、学生等と起業家との交流会やビジネスプランコンテスト等により、起業に関心のある者の掘り起し、底上げを行う。 また、奈良市起業家支援施設「きらっ都・奈良」を起業家支援の拠点とし、起業家の育成を行う。さらに、将来的には同施設を活用した起業家が、市内の空き店舗に入居することにより、地域の活性化を図る。	計画額	13,500	13,500	13,500	13,500	40,500	産業振興課
		決算額	13,500					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
市にワンストップ相談連絡窓口を設置し、連携支援機関と一体となった起業支援体制を強化している。さらに、きらっ都・奈良では、起業家支援事業を実施し、起業風土の醸成に努めている。これまで、30人がきらっ都・奈良への入居をきっかけに起業し、卒業した起業家が市内商店街に出店する等、一定の成果を得ている。平成28年度には、新たな産業と雇用を生み出す成長志向の起業家を育成する「NARA STAR PROJECT」をスタートした。				きらっ都・奈良では、起業に関心のある方等に対し、堅実な起業へと繋げられるよう、引き続き伴走型支援を実施し、起業への障壁を軽減する。また、起業後の方へのサポート体制に課題があることから、地元経済団体や金融機関との連携を更に強化するとともに、起業環境の整備を更に加速化させるため、成長志向型の起業家を育成し、「地域で起業家を生み、育てる好循環（ベンチャー・エコシステム）の確立」に向けた事業を実施する。			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
広域連携による新たな観光資源の形成	「歴史街道計画」の推進母体である歴史街道推進協議会に参画し、古代から中世にかけての三つの都である「飛鳥、奈良、京都」とその近郊を巡ることで日本の文化と歴史を体験し実感できる学習会等を開催する。また、新たな観光資源と観光ルートの創出を目指し、隣接する自治体と交通機関で構成している京・伊賀一大和広域観光推進協議会にも参画し、より有機的な広域連携により奈良市の観光振興を図る。	計画額	448	448	448	448	1,344	観光振興課
		決算額	445					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
歴史街道推進協議会総会、幹事会、全体会議、現地見学会等の事業に参加し、京・伊賀一大和広域観光推進協議会の会議・キャンペーンにも参加した。これらの活動で他市町村との連携を深め、広域的な観光ルートの開発に努めた。 また、飛鳥一奈良一京都リレー現地講座等の事業に参画し、奈良市の観光振興を進めるとともに、関連の他市町村とより連携を深め、協力関係を構築した。				今後も、飛鳥一奈良一京都リレー現地講座等の事業に参画し、奈良市の観光振興を進める。関連の他市町村と連携を深め、協力関係を構築し、併せて京・伊賀一大和広域観光推進協議会の事業に継続して参加し、他市町村と連携した広域的な観光ルートの開発に努める。 また、知名度のある「歴史街道」のツールを利用した観光PRを積極的に進める。			横田 郁男	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
奈良町南観光案内所 運営事業 【6-01-01①「観光 関連施設の整備及び 運営管理」の内数】	奈良市の観光資源である奈良町の観光拠点であつたならまち振興館を、奈良町観光の南の玄関口とするために、ならまち振興館隣接地と一体的に活用を行い、観光客用トイレを備えた憩いの広場と、奈良町紹介の展示施設を備えた観光案内所として整備した。 既存施設との連携による観光ルートの整備を行うことにより、より多くの観光客を誘致し、奈良町の観光活性化を図る。	計画額	28,065	28,065	28,065	28,065	84,195	奈良町にぎわい課
		決算額	28,065					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
カウンター越しに“待つ”案内ではなく、来館者と積極的に対話して要望を聞き、提案を行える観光案内を目指した。具体的な事業として、①オリジナル奈良町マップを問い合わせの多い飲食店情報を最新の状態にして製作(日本語・英語)②日本政府観光局(JNTO)認定外国人案内所のカテゴリ2認定を取得③蔵の建物を生かした展示(3回、合計44日間)④書籍の充実(蔵書は約1,000冊以上を揃え、奈良市中央図書館からも貸出し)⑤「生活学校」講座を6回開催(2日間の集中講座)を行った。年間来館者数は、平成28年度3.1万人であった。				奈良町の南の玄関口として奈良町観光の案内所を運営していく。 また、奈良町の南側まで観光客の動線がつながっていない現状を打開するため、京終など周辺地域の観光資源と連携しながら活性化を図っていく。			徳岡 健治	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
奈良町おもてなし戦略	既存施設や元林院、町家を活用した滞在型・体験型観光コンテンツの創出を支援し、観光客へ多様なコンテンツを提供することで、滞在時間の延長と観光消費額の増加を促進する。 また、元林院検番演舞場周辺を整備することで、花街の魅力の復興を支援し、コンテンツとしても活用し、奈良町全体の活性化につなげる。 さらに、奈良の歴史文化遺産以外の観光資源「奈良町」と新しいコンテンツやルートを合わせてプロモーションすることで、増加する観光客を「奈良町」に呼び込む。	計画額	0	17,000	0	0	17,000	奈良町にぎわい課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
①奈良町クリエイション事業:アイデアソン2回開催(38名参加)、モニターツアー4回開催(38名参加)、販売システム構築②奈良町プロモーション事業:観光プロモーション動画(240秒×3本、日本語・英語)、奈良町観光プロモーションパンフレット(48ページ、日本語・英語)③奈良町空き家・町家ツアー:1回開催(28名、6物件)④京終駅観光案内拠点整備:什器等の製作と実施、電気設備、復元資料等の製作と設置、Wi-Fiアクセスポイントの設置⑤元林院検番演舞場周辺整備:トイレと門扉の改修、スロープの設置、植栽を行った。				京終駅に関しては、地元と協力しながら、ならまちの南の玄関口として核となるようにまちづくりを図っていき、観光客の誘致につなげる。 また、元林院検番演舞場については、平成28年度に実施した体験型モニターツアーや販売システムを活用し、利用していく。			徳岡 健治	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
観光資源の充実による観光客誘致	ならまちナイトカルチャー、なら燈花会等観光関連団体の実施する各種イベントに対し、その一部を支援すること等により観光資源としての魅力を高めるとともに地域の活性化、経済の活性化を推進する。また、奈良を訪れる観光客に対し、官民が一体となった「おもてなし」の心を熟成することにより、何度も奈良を訪れていただく「リピーター」の増加に努め、集客力を高める。	計画額	65,676	69,725	69,725	69,725	209,175	観光振興課 奈良町にぎわい課
		決算額	63,403					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
年間を通じた観光振興を目指し、観光閑散期である夏・冬期を中心に、各イベント実行委員会へ補助金等を交付した。また、奈良町で伝統芸能を楽しむ夜のイベントを開催し、宿泊客の誘致に努めた。 主なイベントの期間中参加者は、平成28年度は春の平城京天平祭が3日間で42,000人、なら燈花会が10日間で911,000人、なら瑠璃絵が7日間で386,000人であり、継続的なイベント開催で認知度は高まっている。				更なる誘客に向けて、チラシやポスターを中心とした広報に加え、旅行社へのPR、WEB・SNSを中心とした広報を積極的に進める。 また、「ならまちナイトカルチャー」を引き続き開催し、宿泊客の増加を促進する。 「元林院」復興による地域の活性化を図るとともに、伝統的景観の保全対策を講じる。			横田 郁男 徳岡 健治	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28	H28	H29	H30	H31		
ブランド力のある資源の発掘育成	既存資源に新たな付加価値を付けることで、従来の固定化された「奈良」のイメージだけではなく、これまで知られていなかった観光資源の発掘や、既知であっても違った角度から見た新たな魅力の発見、そしてそれらを適切に育成、発展させることなどを通して、更に多くの人に幅広くアピールでき、より一層の誘客につながるような「ブランド力」を育成・強化することを目指す。	計画額	164	0	0	0	0	観光振興課
		決算額	60					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
平成23年度市民連携企画事業で実施した「ならの原風景を訪ねるツアー」の経験をもとに、地域住民と奈良市観光協会の協力のもと、平成24年度から田原・柳生・月ヶ瀬地区を中心に「奈良の魅力発見ツアー」を実施している。 平成28年度は柳生地区で実施し、奈良の隠れた魅力を全国に発信するとともに、地域が自主的に地元魅力を発信することを促した。				田原地区、柳生地区、月ヶ瀬地区において、地域の魅力を自主的に発信する機運は高くなった。これを一過性のものとしなないためにも、継続して地域と協力していく必要がある。 今後は、奈良市観光協会と奈良ブランド推進課が連携し、地方創生交付金事業として東部地域ツアー造成等に取り組むため、「奈良の魅力発見ツアー」で培ったノウハウ等を新たな事業へ継承する。			横田 郁男	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28	H28	H29	H30	H31		
観光総合調査の実 施・観光振興計画の 策定	観光がもたらす地域経済への波及効果の推計に必要な観光客の動向や消費額、観光産業の実態等のデータを取得するため、観光総合調査を実施する。 また、観光総合調査の結果も利用しつつ、平成29年度から平成33年度を計画年度とする奈良市観光振興計画を策定し、客観的データによるマーケティングを行った上で目標を設定し具体的な施策を提示する。 このことにより、各種観光施策に関する効果の検証や立案をより効果的に行うことを目指す。	計画額	0	0	0	0	0	観光戦略課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
奈良市観光総合調査（観光産業実態調査、モバイルデータ分析、訪日外国人Web調査、日本人Web調査および観光消費額・満足度調査）を実施し、その結果を踏まえ、5か年（平成29～33年度）の観光施策の計画として「奈良市観光振興計画 ～市場の視点、産業の視点から～」を策定した。				奈良市観光振興計画を実現するために、各年度における実施計画（（仮称）アクションプラン）を作成し、関係各課や奈良市観光協会と実施体制を構築するとともに、民間事業者・関係団体と連携を図りながら効果的な観光施策につなげていく。			今中 正徳	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
観光関連団体への支 援	観光関連団体が実施する各種事業や古くから続く伝統行事を支援することで、観光事業の発展による観光振興を図る。	計画額	198,443	177,897	177,896	177,896	533,689	観光振興課 奈良町にぎわ い課
		決算額	190,245					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
観光振興を目的として観光関連団体へ補助金、負担金を支給した。また、東日本大震災による想定外の減収に対する借入金への援助として、旅館業者へ利子補給を行った。（新型インフルエンザ対策旅館業利子補給及び旅館施設改善資金利子補給は前期計画期間中に完了。） いずれの補助金等の支給についても、目的に沿った適正な支給ができた。				各観光関連団体への補助金、負担金の支払いについて、活動内容の詳細な把握により、その活動の要否を再検討し、適正な補助金、負担金の執行が行われるよう団体への指導に努めていく。 また、旅館業者に対する利子補給金については、東日本大震災利子補給が平成29年度で完了する。			榎田 郁男 徳岡 健治	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
観光関連施設の整備 及び運営管理	総合観光案内所をはじめとする観光関連施設の管理運営を行うとともに、施設整備を行うことにより、観光客へのより一層のサービス向上を図り、シーズンにとられない新たな観光資源を生み出す。	計画額	297,583	264,537	253,787	253,787	772,111	観光振興課 奈良町にぎわい課 月ヶ瀬行政セン ター地域振興課
		決算額	255,634					
		繰越額	28,000					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
観光センター、総合観光案内所、奈良町(きたまち・ならまち)等の観光案内所をはじめ、奈良町にぎわいの家等ならまち界隈の施設、観光駐車場・観光トイレや針テラス情報館等の管理運営を行うとともに、平成28年度は針テラス情報館と総合観光案内所において設備更新を行った。 なお、観光センターを新たな奈良観光の拠点施設として機能強化する整備事業は、平成29年度へ繰り越して実施する。				奈良の新たな魅力発信、来訪者への「おもてなし」を提供できる空間として、観光センターを国内外の観光客や地域住民が活用する賑わいある施設とするため、体験メニューやツアー等のソフト面を充実させ、新たな観光拠点として運営を行う。 また、天然記念物「奈良のシカ」の保護収容施設である鹿苑の老朽化に伴い、奈良県・春日大社と協働で、施設の更新と併せ、新たな観光資源として観光客が鹿の生態等に触れることのできるような施設整備を行う。			榎田 郁男 徳岡 健治 西本 一夫	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
道路橋梁新設改良単 独事業(梅林周遊道 路)	観光産業の振興を図るため、月ヶ瀬梅林を巡る周遊道路を整備する。 L=1,280m W=5m	計画額	50,000	50,000	10,000	15,000	75,000	道路建設課
		決算額	26,714					
		繰越額	7,754					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
拡幅整備に伴う用地取得を進めながら事業実施しており、平成28年度末時点で、全体延長1,280mのうち760mの整備が完了した。				用地取得に時間を要し、当初予定していた平成26年度事業完了はできなかったが、平成29年度は整備計画延長100mの用地取得を行う予定である。新市建設計画の終了する平成32年度までに事業が完了するよう進めていく。			田上 智弘	

施策の展開方向②観光客受入体制の充実

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
もてなしのまちづくり推進 【1-01-02②再掲】	誰もが訪れたくなり、末永く暮らしたくなる魅力あふれる奈良市を実現するため、「もてなしのまちづくり推進行動計画」を推進し、もてなしのまちづくりについて、広報・啓発等を行う。	計画額	486	74	74	74	222	協働推進課
		決算額	163					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
平成28年度に第2次もてなしのまちづくり推進行動計画を策定して、もてなしのまちづくり推進委員会への報告を行った。また、同委員会において、今後のもてなしのまちづくりの進め方について議論を行った。				第2次もてなしのまちづくり推進行動計画に基づき、外国人観光客やシニア世代の観光客に特に焦点を当て、もてなし事業に取り組む。また、もてなしを推進する中心的な役割を担う「(仮称)もてなしのまちづくり推進協議会」の設立を目指す。			矢倉 靖弘	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
観光客受入体制の充実	観光客の満足度をより向上するために、奈良を訪れた観光客に手軽な着地型観光メニューである、観光ガイドとともに巡る予約不要で現地発着のツアーの企画・実施を補助し、観光ガイド活動をより一層活性化し、観光客受入体制の充実を図る。	計画額	2,695	2,695	2,695	2,695	8,085	観光振興課
		決算額	2,695					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
観光振興を目的として、観光ボランティアガイドの育成と活動に対し補助金を支給し、観光ボランティアガイドの事業を活発に行い、平成28年度は88,848人をガイドした。 また、奈良を訪れる観光客へ無料のガイド付ツアーを開催し、リピーターの増加につなげるとともに、更なる参加者増加に向けて、ボランティアガイドと内容やPR方法等を検証した。				観光ボランティアガイドに関しては、活動内容の把握をより詳細に行い、活動の充実を図るよう助言していくとともに、活動の要否や補助の可否の再確認を行う。 観光ボランティアガイドの開催日数や利用者数はほぼ例年通りであるため、今後はより積極的に周知活動を展開し、利用者数の増加を目指す。			横田 郁男	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
パークアンドライドの実施 【5-03-01①再掲】	春・秋の観光シーズンに、中心市街地において慢性的な渋滞が発生しているため、土・日・祝日に、パークアンドライドを実施し、中心市街地への乗用車の流入を抑制するとともに、事業を通し自家用車による観光から公共交通や自転車による観光への転換を推進し、交通渋滞の緩和と環境にやさしい観光の推進を図る。 市役所駐車場を無料開放し、路線バスや無料レンタサイクルを利用してもらうパークアンドライドを実施する。	計画額	4,130	5,500	5,500	5,500	16,500	交通政策課
		決算額	4,130					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>事業の利用者について、平成28年度はシルバーウィークを含める等により日数を増やし、春季16日間、秋季27日間実施し、秋の混雑期には市役所2階駐車場を開放することで、駐車台数4,211台、レンタサイクル3,816台となった。</p> <p>また、平成26年度から奈良県と連携し、国道24号線高架下駐車場でも実施しており、平成28年度の駐車台数は合計6,491台となり、奈良中心市街地へ向かう自家用車の流入抑制に寄与した。</p>				<p>パークアンドライドの利用台数が大幅に増加し、奈良公園周辺での渋滞緩和に寄与している。今後、奈良中心市街地公共交通活性化協議会事業として、県、交通事業者等と連携の下、本事業を推進するとともに、利用者を媒体とした、自転車や公共交通による観光の普及を目指す。</p>			藤田 雅弘	

施策の展開方向③コンベンションの誘致推進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
コンベンションの誘致	奈良県の特徴を生かし、観光振興並びにコンベンションの誘致及び支援等に関する事業を行うことにより、奈良県経済の活性化を図り、県民の生活・文化及び経済の向上発展並びに国際親善に寄与することを目的とする。奈良県下の地方自治体が一体となって、観光振興及びコンベンションの誘致及び支援を行う事業に参画することにより、奈良市独自で取り組む観光振興事業と相まって、より一層の奈良市観光の振興に資することができる。 一般財団法人奈良県ビジターズビューローに参画することにより、奈良市の観光・コンベンション事業への支援を促進するために負担金を支出する。	計画額	28,780	28,580	28,580	28,580	85,740	観光戦略課
		決算額	28,780					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>主要大学への重点セールスを強化するとともに、国連世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センター等の関係機関と連携したプロモーションに積極的に取り組んだ。平成28年度誘致件数は260件であり、うち国際誘致件数は34件であった。</p>				<p>一般財団法人奈良県ビジターズビューローは、コンベンションの誘致及び支援について、引き続き積極的な誘致活動を行う。特に、国際コンベンションでは、オフ期における開催を促すために、助成金を充実する等、年間を通して国際コンベンションを奈良に誘致するという方針を固めており、本市は引き続き支援していく。</p>			今中 正徳	

施策の展開方向④観光情報の発信

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
修学旅行の誘致 【6-01-01①「観光 関連団体への支援」 の内数】	<p>少子化が進み全国的に児童・生徒数が減少するとともに、修学旅行による訪問地や形態が多様化している状況にあって、世界遺産を有する日本のふるさとともいべき奈良の魅力情報を発信し、特に次代を担う子どもたちに奈良のすばらしさを学び知ってもらい、修学旅行訪問地としての奈良の価値を維持向上させることを目的とする。</p> <p>事業としては、大市場である首都圏の学校を中心に奈良への修学旅行の誘致活動を行う。</p>	計画額	7,800	7,740	7,740	7,740	23,220	観光戦略課 観光振興課
		決算額	7,152					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>平成28年度から奈良市観光協会に事業を移管し、奈良市内への教育旅行誘致等の活動に取り組んだ。東京23区内の学校を中心に訪問活動を行った結果、東京23区内の全公立中学校に占める奈良市内宿泊決定校数の割合は、平成28年度実施が41.3%、平成29年度実施予定が39.5%となった。</p>				<p>少子化による児童生徒数の全国的減少と修学旅行形態の多様化が進んでいるため、その時々々の状況を分析しプロモーションの対象地域や手法等を柔軟に見直しつつ、奈良を修学旅行の訪問地として選定してもらおうよう多様な誘致活動を行う。</p>			今中 正徳 横田 郁男	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
観光パンフレット・ ポスターの制作 【6-01-01①「観光 関連団体への支援」 の内数】	<p>奈良の魅力を様々な方法で効果的に発信することにより、誘客を図る。</p> <p>国内外からの観光客に親しまれ、また観光客のニーズに応え、観光客へのサービスと誘客を図るため、各種パンフレットやポスター等を制作する。</p> <p>特にインバウンドについて、着地型の資料はもとより海外で目にしていだけるコンテンツを探っていく。</p>	計画額	12,297	9,135	9,135	9,135	27,405	観光戦略課 観光振興課
		決算額	15,619					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>平成28年度は「なら乗(観光ガイドブック)」8.5万部、「ようこそ奈良へ」日本語版26万部、英語版17万部、繁体字・簡体字版各6万部、韓国語版・仏語版・西語版・独語版各1.5万部、インバウンド観光パンフレット英語版・繁体字版・簡体字版を各1万部、「奈良市ガイドマップ」を日本語版2万部、英語版1万部、繁体字版・簡体字版を各5千部、「古都奈良の文化財」英語版を1千部作成し、奈良の魅力を多くの人々にPRし、観光客来寧の動機付けの一助となった。</p>				<p>観光客をはじめ、内外からの来寧者を増やすことを考えた時、一様に同じような仕様ではなく、来寧者の属性やその目的に応じた対象(ターゲット)を想定して、適切に観光資源の良さをPRできるパンフレット等を制作する必要がある。随時必要なパンフレット等を精査し、計画的に情報更新を行いながら増刷する。</p>			今中 正徳 横田 郁男	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
観光大使・高校生観光特派員による情報発信	観光客誘致の一つの手法として、行政以外のマンパワーの活用を図り、奈良の観光資源の魅力を広くPRすることを目的とする。奈良市観光大使・観光特別大使及び高校生観光特派員を委嘱し、その活動を通じて情報の発信を行う。	計画額	791	306	787	306	1,399	観光戦略課 観光振興課
		決算額	461					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>観光大使は、平成28年度に新たに2名を委嘱し、計103名となった。観光パンフレット等により、奈良市の観光PRをしていただいた。また、平成28年8月に開催した観光大使情報交換会では、「東アジア文化都市2016奈良市」のコア期間プログラム「古都祝奈良」を体験していただき、広く情報発信していただいた。</p> <p>また、高校生観光特派員については、平成28年度19名を委嘱し、高校生の視点で、修学旅行や部活動の遠征などの機会を利用して、幅広い世代に奈良の良さをPRしていただいた。</p>				<p>高校生観光特派員については、卒業・入学で生徒が入れ替わるため、学年によって活動意欲にばらつきがあるが、自主的、積極的に個人のブログ、SNSなどで奈良の魅力を広く発信していただく。また、観光大使・観光特別大使については、今後も著名人を含め、奈良を愛し奈良の良さを広く伝え情報発信できる方を委嘱し、奈良の観光資源の魅力を広くPRしていただく。</p>			今中 正徳 横田 郁男	

施策の展開方向⑤外国人観光客の誘致促進

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
海外への情報発信 【6-01-01①「観光関連団体への支援」の内数】	外国人観光客を誘致するため、海外に向けて奈良の認知度を向上を図る。 奈良市の知名度を上げるため、東アジア・東南アジアを中心に観光プロモーションを実施する。 また、海外メディアやエージェントへの情報提供を積極的に進める。	計画額	7,344	5,828	5,828	5,828	17,484	観光戦略課 観光振興課
		決算額	4,961					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>平成28年度から奈良市観光協会にインバウンド事業を移管又は連携し、インドネシアのエージェント等を対象としたファミトリップと、香港への観光プロモーション等、情報発信事業を実施した。</p> <p>また、奈良観光産業推進協議会と連携し、台湾へのプロモーションを実施した。</p>				<p>観光プロモーション等の情報発信事業は、効果を数値で表すことが難しく、また、短期間で成果を上げることができない。今後も効果的な手法を模索しながら継続していくことが必要であると考えている。また、現地に行くだけでなく、様々な広告媒体を活用し、より多くの人の目に触れる機会をつくり認知度を高めると同時に、誘客につなげていく。</p>			今中 正徳 横田 郁男	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
東アジアの交流を活かした観光力強化事業	本市の特長である文化財を活用した特別感や地域特性の演出、東アジアを中心とした各国との過去の文化・経済交流の歴史研究・発信により、新たな国際交流ルートを構築することで、外国人観光客の誘客を推進する。 さらに、本市の強みを生かし、参加者の長期滞在が期待できる国際会議等の更なる誘致・開催をするための基盤醸成に計画的に取り組む。 それらにより、本市の基幹産業である観光産業の振興による地域経済の活性化を図る。	計画額	30,000	45,000	25,000	0	70,000	総合政策課
		決算額	17,681					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
奈良市観光協会が中心となって、本市にしかない特長を生かした、国際会議受け入れに関する他都市との差別化戦略を検討し、シンポジウム場で発表した。また、観光協会が地域の事業者等の関係者と一体的かつ戦略的に国際会議等を受け入れるための基盤を醸成することを目的として、「奈良市MICE受入体制整備計画」を策定した。				平成29年度は観光協会に補助金を交付し、平成28年度に策定した計画に基づき、国際会議等の受入環境整備を実施するとともに、具体的な観光商品の開発を行う。それらをホームページ等で広報することにより、国内外へ広くプロモーションし、地域経済の活性化を促す。			吉村 啓信	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
外国人観光客の受入環境の整備	外国人観光客を誘致するため、観光客への充実したサービス提供と奈良の魅力発信を図る等、受入環境を整備する。 宿泊施設の設備や観光案内所の機能の充実、外国人観光客に対応できる人材の育成、観光パンフレットや観光案内板の多言語表記を進めるなど、外国人観光客の受入体制を整備する。	計画額	37,979	33,658	33,658	33,658	100,974	観光戦略課 観光振興課
		決算額	37,844					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
英語・中国語・韓国語スタッフを配置した奈良市総合観光案内所は、平成27年度から日本政府観光局(JNTO)が認定する外国人観光案内所のカテゴリ3として認定されており、平成28年度は外国人入館者数は95,321人となった。 また、QRコードを活用した観光パンフレット・案内板の多言語化に取り組み、平成28年度は81,069件のアクセス数があった。				受入体制の充実を図るため、引き続き多言語コールセンター事業に参画する。 また、外国人観光客への対応のため、総合観光案内所に英語・中国語・韓国語スタッフの配置を継続するとともに、観光パンフレット・案内板の多言語表記を進める。			今中 正徳 横田 郁男	

基本施策6-02 交流(国際交流)

施策6-02-01 国際交流の活発化

施策の展開方向①国際交流の活発化

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
国外友好姉妹都市との交流	<p>国外友好姉妹都市との交流を通じて市民に異文化に触れていただくことにより、自らの属する文化や地域に対する理解がより深まり、誇りや愛着が生まれ、まちづくりの担い手が育成されることを目的とする。</p> <p>国外の友好・姉妹都市（慶州・トレド・西安・ベルサイユ・キャンペラ・揚州）との交流事業を実施する。</p>	計画額	3,040	443	443	443	1,329	観光戦略課
		決算額	2,298					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>平成28年度は、揚州市長、慶州市長が来寧された。</p> <p>また、ベルサイユ市姉妹都市連携30周年を記念し、ベルサイユ市長が来寧され、交流を深めた。</p>				<p>市民レベルでの交流が図れ、広がりを見せるような仕組みを構築していく。</p>			今中 正徳	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
国際理解と交流の推進	<p>国際交流事業を通じて市民に異文化に触れていただくことにより、自らの属する文化や地域に対する理解がより深まり、誇りや愛着が生まれ、まちづくりの担い手が育成されることを目的としている。</p> <p>また、外国語対応が可能な嘱託職員等により、国際交流活動を行う市民団体の活動を支援する。</p>	計画額	1,433	4,507	2,933	1,433	8,873	観光戦略課
		決算額	869					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>市民の国際理解を深めてもらうために、英語韓国語通訳を配置し、国外友好姉妹都市等からの来寧者に対し、よりスムーズな対応を継続して行っている。また、国際交流団体に対し補助金を交付し、市民レベルでの国際交流活動への支援を図った。</p> <p>国際交流団体の登録件数 平成28年度 22件</p>				<p>国際文化観光都市として、広く海外諸都市との交流を推進するとともに、国際交流に取り組む市民団体の支援を行う。</p>			今中 正徳	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
海外への情報発信 【6-01-01⑤再掲】	外国人観光客を誘致するため、海外に向けて奈良の認知度向上を図る。 奈良市の知名度を上げるため、東アジア・東南アジアを中心に観光プロモーションを実施する。 また、海外メディアやエージェントへの情報提供を積極的に進める。	計画額	7,344	5,828	5,828	5,828	17,484	観光戦略課 観光振興課
		決算額	4,961					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
平成28年度から奈良市観光協会にインバウンド事業を移管または連携し、インドネシアのエージェント等を対象としたファムトリップと、香港への観光プロモーション等、情報発信事業を実施した。 また、奈良観光産業推進協議会と連携し、台湾へのプロモーションを実施した。				観光プロモーション等の情報発信事業は、効果を数値で表すことが難しく、また、短期間で成果を上げることができない。今後も効果的な手法を模索しながら継続していくことが必要であると考えている。また、現地に行くだけでなく、様々な広告媒体を活用し、より多くの人の目に触れる機会をつくり認知度を高めると同時に、誘客につなげていく。			今中 正徳 横田 郁男	

基本施策6-03 農林業

施策6-03-01 農林業の振興

施策の展開方向①農業生産基盤と施設の整備

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
土地改良事業(市単 土地改良基盤及び農 業用施設整備事業)	土地改良基盤及び農業用施設の整備を行い耕作条件の改善や作業の機械化による省力化、低コスト化による生産性の向上を図るために、農家組合等が実施する農道、ため池、用排水路などの整備に対し補助を行う。	計画額	6,300	8,300	8,300	8,300	24,900	農林課
		決算額	4,182					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
耕作条件の改善と生産性の向上を図るため、農家組合等が実施した整備等事業に対し補助を行い、概ね計画とおりの執行となり、平成28年度の実績は17件であった。 平成28年度内訳 農道整備 2件 頭首工整備 3件 ため池整備 6件 用排水路整備 5件 その他整備 1件				耕作条件の改善と生産性の向上を図るため、各種工の整備を継続して実施する。			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H29～	H28	H29	H30	H31		
土地改良事業(県営 ほ場整備事業)	農業の生産基盤である耕地の区画形質の改善、 用水路、農道の整備、耕地の集団化を総合的に実 施し、農業機械の効率的な運行と適切な水管理に による農業生産性の向上、経営規模の拡大と効率的 農業の展開を促進し、担い手の育成を目指し、県 営では場整備を行う。 北村地区県営ほ場整備事業 地区面積：22ha 区画整理工：20ha 農道整備工：4.1km 農業用排水工：5.5km	計画額	0	4,508	11,625	17,250	33,383	農林課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
				高齢化等により担い手(後継者)不足が深刻化、 耕作放棄地が増加している現状を打開するため、農 地の集約化・集団化を図り、農作業の協働、農機具 の共有ができる環境を整備する。			油谷 彰浩	

施策の展開方向②農業経営環境の向上

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
水田農業構造改革対 策推進事業	「奈良市水田フル活用ビジョン」に基づき米の 需給調整や価格安定を推進するとともに、大豆、 野菜等の多様な作物の産地づくりの推進や水田農 業の構造改革の推進などを行うことにより水田農 業経営の安定化を図る。 「奈良市水田フル活用ビジョン」では、農村地域 の多様化に対応し、豊かで魅力ある農村社会の実現 と国際化時代に対応した生産性の高い農業の実現を 図るため、水稲、麦、大豆等の作物ごとの目標を定 めた。また、国の定める経営所得安定対策制度を有 効に活用し、水田農業経営の安定化を図った。	計画額	8,069	5,275	5,275	5,275	15,825	農林課
		決算額	5,159					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
				平成30年度から経営所得安定対策制度における、 米の直接支払交付金が廃止となるため、水稲以外の 戦略作物等の作付を促し、農業者が制度を活用でき るよう更なる周知に努める。			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
担い手総合支援事業	地域の農業・農村を活性化するため、魅力とやりがいのある農業経営の確立を図ることを目的とし、農地利用集積の促進と認定農業者に対する支援を行う。	計画額	698	638	578	518	1,734	農林課
		決算額	698					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
認定農業者を支援し、農業経営の改善と農業者育成支援を図るため、農業経営基盤強化資金借入者に対し利子補給を行う。 平成28年度利子補給交付対象件数：6件 平成28年度末現在 認定農業者数：118人				認定農業者の利点である農業経営基盤強化資金借入に対する利子補給制度を推進し、個人及び法人の新たな認定を行い、農業経営の改善と農業者の育成支援を引き続き行う。 新規就農者を含めた新たな農業者の認定を目指す。			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
有害鳥獣・鹿害防止 対策事業	近年、イノシシ、サル、アライグマ、カラスなどによる農作物への被害が増大し、その駆除や防除対策の必要性が年々増加しているため、有害獣防除施設の設置補助を行う。 また、奈良公園の鹿が野生化し、近隣へ分散・拡大し、田畑に被害をもたらすため鹿害防止柵等の設置補助を行うことにより、農家の生産意欲の高揚を図る。	計画額	29,897	24,897	24,897	24,897	74,691	農林課
		決算額	23,099					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
有害獣駆除数 イノシシ サル アライグマ その他 H28 494頭 20頭 330頭 57頭 鹿害防止柵の設置補助による柵及び門扉の設置 H28 1,439m 門扉30か所 などの事業により、農作物被害の防止を図った。				被害防除と個体数削減のため、有害鳥獣の駆除と被害防除施設設置の両面から事業を継続するとともに、地域ぐるみで取り組むことの重要性を踏まえた対策の実施が重要となる。			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
中山間地域等直接支払制度	農業の生産条件に対する不利を補正し、耕作放棄地の拡大の防止及び優良農地の維持・保全を図るため、5年以上農業を続けることを約束し協定を締結した集落に対し、交付対象面積に応じて、交付金を交付する。	計画額	10,366	10,021	10,021	10,021	30,063	農林課
		決算額	9,998					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>安定した経営体を育成するとともに、農業経営意欲・耕作意欲の向上を図るため、協定農用地における活動に対し交付金を交付し、平成27年度からは、第4期対策を開始した。</p> <p>平成27年度から平成31年度（第4期対策） 大柳生町ほか6地区 交付対象面積 571,617㎡</p>				<p>農業生産条件が不利な地域における安定した経営体の育成、農業経営意欲、耕作意欲の向上及び農地の保全活動を図るため、引き続き本制度を活用した活動に対して継続して交付金を交付する。</p>			油谷 彰浩	

施策の展開方向③新しい農業の展開

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
地産地消推進事業	地産地消の推進については、市町村レベルの取組が重要であり平成27年3月31日に新たに閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」や、地域における地産地消の実践的な計画「地産地消基本計画」及び「地産地消促進計画」に基づき、地産地消を推進する。	計画額	200	0	0	0	0	農林課
		決算額	200					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>「奈良市地産地消基本計画」及び「奈良市地産地消促進計画」をもとに平成26年度から平成28年度においては、学校給食に地域米を活用するために検査補助を実施した。</p>				<p>「奈良市地産地消促進計画」に基づき、各関係課による地産地消を促進するための様々な取組を推進していく。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
市民ふれあい交流事業	都市住民と農村住民のふれあい交流を図り、奈良市産の安心・安全な野菜や農産物の加工品の販売・消費による地産地消を推進するため、ミニ直売所の設置に対する補助や、農畜産物の直接販売の機会を設ける。	計画額	2,450	2,251	2,251	2,251	6,753	農林課
		決算額	1,556					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
平成28年度は、自治会等と東部地域の生産者団体等が協力し、「ミニ直売所」を6か所で延べ32回開催した。また、市庁舎前で「彩マーケット」を開催し、生産者と消費者とのふれあい交流の促進と地産地消の啓発活動に効果があった。平成25年度から住民間・地域間交流の促進と地産地消の普及啓発を図るため、市内産の農林畜産物等を生産者自らが販売、アピールする「旬菜メルカート」を毎週土、日、祝日に開催している。				ミニ直売所の開催に対し、新規開設等に係る経費を支援することにより、開設箇所及び回数の拡大を図り、最終的には生産者団体等が自主的に開設する方向に導く。また、旬菜メルカートの開催を継続して実施するとともに、新たに市内の様々な地域のイベント等へ出張販売に行けるよう、出張販売を希望するイベント等主催者と生産者団体をつなぐ「出張メルカート」を展開し、地産地消の普及啓発、地域間・住民間の更なる交流の促進を図ることを目指す。			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
奈良の食プロジェクト事業	奈良市には、高品質な農産物や加工品などがあるものの、市内外の消費者にしっかりと伝わっていない。そこで、奈良の食の歴史・文化とともに、それらの食材を見せる・味わう仕掛けを工夫しながら積極的に発信することで、奈良市産食材を「地域ブランド」として確立していくことを目指し、奈良市の食と魅力を全国へ、更には海外へPRする事業を実施する。また、これと合わせて、市産食材を市民に浸透させることにも取り組む。	計画額	14,603	5,619	5,619	5,619	16,857	奈良ブランド推進課
		決算額	13,210					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
奈良市の魅力と市産食材をブランドとして確立していくため、平成28年度は、大和茶や日本酒等の歴史背景や作り手の想いなどを融合させた事業を、一貫したブランドコンセプトのもと、引き続き奈良の食の魅力をPRする事業として実施した。				「モノ」としての農産物の品質の良さを伝えるだけでなく、そのモノの背景にある歴史や文化といったストーリー、奈良の強みである歴史や文化とともに発信するなど、観光施策とも連携した取組を行う。			圓山 尚克	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
経営体育成事業	施設等の整備や経営活動に対する助成を通じ、各地域における集落営農の組織化や法人化、経営の多角化に向けた各種取組を総合的に支援する。	計画額	16,000	9,390	16,000	16,000	41,390	農林課
		決算額	913					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>経営体育成計画に基づき、意欲のある経営体が目標達成のため取り組む農業機械の導入や施設設備の整備に対し交付金を交付し、農作業効率化、農業用機械の共同利用等の推進を図った。</p> <p>交付対象経営体数 平成28年度：1件</p>				<p>経営体育成計画に基づき、農作業の共同化や効率化を図る経営体の農業機械や施設整備に対する支援を引き続き行う。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
中山間地域等直接支払制度 【6-03-01②再掲】	農業の生産条件に対する不利を補正し、耕作放棄地の拡大の防止及び優良農地の維持・保全を図るため、5年以上農業を続けることを約束し協定を締結した集落に対し、交付対象面積に応じて、交付金を交付する。	計画額	10,366	10,021	10,021	10,021	30,063	農林課
		決算額	9,998					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>安定した経営体を育成するとともに、農業経営意欲・耕作意欲の向上を図るため、協定農用地における活動に対し交付金を交付し、平成27年度からは、第4期対策を開始した。</p> <p>平成27年度から平成31年度（第4期対策） 大柳生町ほか6地区 交付対象面積 571,617㎡</p>				<p>農業生産条件が不利な地域における安定した経営体の育成、農業経営意欲、耕作意欲の向上及び農地の保全活動を図るため、引き続き本制度を活用した活動に対して継続して交付金を交付する。</p>			油谷 彰浩	

施策の展開方向④農村地域の活性化

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
東部地域・地域づくり支援事業	奈良市東部地域は、人口減少と高齢化が顕著に進んでいることから、農業の6次産業化や観光資源の開発等の地域の取組を支援することで、地域経済の好循環を図り、東部地域の活力あるまちづくりを目指す。 また、地域の取組を側面的に支援するために、ツアーの組成、観光統計の整理や観光案内地図の整備などを行っていく。	計画額	31,656	40,536	20,536	2,000	63,072	奈良ブランド推進課
		決算額	12,459					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
東部地域への交流人口・観光入込客数の増加を図り、観光産業の活性化等、地域活性化効果を得ることを目的として、東部地域の地理的特性を踏まえて、豊かな自然環境を活用した体験型観光を検討し、試行した。 平成28年度は、地域の取組を側面的に支援するため、観光ツアーの組成・柳生街道の観光統計調査及び観光マップの作成等を実施した。				人口減少と高齢化が進む地域課題の解消に向け、地域の主産業である農業に寄与するグリーンツーリズム等、主体的・継続的に地域づくりに取り組む者を積極的・多角的に支援するとともに、体験型観光を推進し、地域と連携しながら誘客につなげるための下地づくりを行い、その成果を地域活性化につなげる。			課長名	
							圓山 尚克	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
田原地区直売所支援事業	地域コミュニティの活性化機能を有する田原地区内の直売所について、魅力ある直売所の運営を目指した支援を行い、地域住民と市街地住民の交流の促進や地域農家の営農意欲の向上を図る。	計画額	5,778	0	0	0	0	奈良ブランド推進課
		決算額	5,500					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
田原地区において、現状の生産状況等を踏まえて直売所施設改修等の地元調整を行うとともに、専門家による経営主体の在り方や生産者向けアドバイスを実施した。 平成28年度は、地元農産物直売所「田原やま里市場」の加工室・厨房機器の設置・トイレ等の機能拡充及び改修のため、地域を主体とした団体である田原やま里市場運営委員会へ補助金を交付した。				出荷者数や販売商品の減少等の課題に直面しており、主体的・継続的に地域内で直売所の質の向上に取り組む団体に対して、今後も直売所運営上の様々な相談業務等を行っていく。			課長名	
							圓山 尚克	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
農林産物直売所整備 事業	農林業の振興策として、直売施設を整備し、消費者の交流と販路拡大を図り、市民に新鮮で安全な農作物を提供し地産地消を進め、安定した農業経営の実現を目指す。	計画額	0	0	0	40,000	40,000	農林課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
平成22年度、直売所の規模・立地等の概定を行い、平成23年度に基本計画策定の予定であったが、県内での大型施設の開設計画等を踏まえて検討を行う必要が生じたため、引き続き直売所の在り方等について検討を行った。				地域振興の核となる農林産物直売所を整備するため、立地、施設規模、運営形態等について、市場及び生産状況を踏まえて検討する。			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
地産地消推進事業 【6-03-01③再掲】	地産地消の推進については、市町村レベルの取組が重要であり平成27年3月31日に新たに閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」や、地域における地産地消の実践的な計画「地産地消基本計画」及び「地産地消促進計画」に基づき、地産地消を推進する。	計画額	200	0	0	0	0	農林課
		決算額	200					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
「奈良市地産地消基本計画」及び「奈良市地産地消促進計画」をもとに平成26年度から平成28年度においては、学校給食に地域米を活用するために検査補助を実施した。				「奈良市地産地消促進計画」に基づき、各関係課による地産地消を促進するための様々な取組を推進していく。			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
交流体験事業	都市住民が農村地域で農作物を育てる実体験等を通して、「農」と「食」への関心を高めるとともに、地域間交流を図るため「ふれあい交流ファーム体験事業」及びシニア層を中心とした「アクティブシニア農業体験事業」を実施する。	計画額	950	1,950	1,550	1,550	5,050	農林課
		決算額	950					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>阪原町において、平成24年度から不耕作地を利用した市民農園「ふれあい交流ファーム」を開設し、都市部地域の住民を対象に更なる募集を行った。平成28年度は、平成27年度に引き続き利用対象区画のほぼ全区画の利用があった。</p> <p>また、平成26年度から「アクティブシニア農業体験事業」として、農業体験をきっかけに就農への関心を持ってもらえる講座等を実施し、平成28年度は年間26回開催した。</p>				<p>シニア層を対象として、農作業・田舎暮らし体験をする「アクティブシニア農業体験事業」を実施し、農業に対する理解や関心を持ってもらい、自ら野菜作り等を始めてみたい都市部地域の住民に「ふれあい交流ファーム」を利用してもらおうよう導く。また東部地域等において農家・営農組合の協力を得ながら新たな交流ファームの開設を目指す。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
担い手総合支援事業 【6-03-01②再掲】	地域の農業・農村を活性化するため、魅力とやりがいのある農業経営の確立を図ることを目的とし、農地利用集積の促進と認定農業者に対する支援を行う。	計画額	698	638	578	518	1,734	農林課
		決算額	698					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>認定農業者を支援し、農業経営の改善と農業者育成支援を図るため、農業経営基盤強化資金借入者に対し利子補給を行う。</p> <p>平成28年度利子補給交付対象件数：6件 平成28年度末現在 認定農業者数：118人</p>				<p>認定農業者の利点である農業経営基盤強化資金借入に対する利子補給制度を推進し、個人及び法人の新たな認定を行い、農業経営の改善と農業者の育成支援を引き続き行う。</p> <p>新規就農者を含めた新たな農業者の認定を目指す。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
経営体育成事業 【6-03-01③再掲】	施設等の整備や経営活動に対する助成を通じ、各地域における集落営農の組織化や法人化、経営の多角化に向けた各種取組を総合的に支援する。	計画額	16,000	9,390	16,000	16,000	41,390	農林課
		決算額	913					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>経営体育成計画に基づき、意欲のある経営体が目標達成のため取り組む農業機械の導入や施設設備の整備に対し交付金を交付し、農作業効率化、農業用機械の共同利用等の推進を図った。</p> <p>交付対象経営体数 平成28年度：1件</p>				<p>経営体育成計画に基づき、農作業の共同化や効率化を図る経営体の農業機械や施設整備に対する支援を引き続き行う。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
人・農地問題解決推進事業	農業従事者の高齢化と後継者の育成確保が課題であることから、地域による話し合いのもと作成された「人・農地プラン」に位置付けられた青年農業者等への給付金を交付することにより、農業者の経営を安定させ後継者の育成を図る。	計画額	14,970	16,450	14,970	14,970	46,390	農林課
		決算額	7,662					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>農業従事者の育成確保と地域の中心となる経営体への支援を行い、将来の地域の農業のあり方を、地域での話し合いを通じて解決していくプラン作成に対し支援した。</p> <p>プラン作成地区数：12地区 (平成28年度末時点)</p>				<p>地域・集落が抱える「人・農地の問題」解決のため、集落や地域での話し合いにより、「人・農地プラン」を策定し、地域の中心となる経営体の確保や新規就農者の就農後の定着を促進し、持続的で力強い農業を推進するため、プラン策定及びプラン見直しの支援を行う。</p>			油谷 彰浩	

施策の展開方向⑤林業の振興

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
森林整備地域活動支援事業	森林施業計画の認定森林について、放置等による森林荒廃の防止を図るため、森林施業に不可欠な森林の現況調査その他地域における活動(森林経営計画の促進、間伐を集約して実施、作業路網の改良)を確保するための支援を行う。	計画額	2,970	810	810	810	2,430	農林課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>森林作業の効率化と施業放置林の荒廃防止に努めたが、平成28年度は計画作成者等の事業実施が困難であったため、支援に至らなかった。</p>				<p>森林資源が本格的な利用期を迎えるなか、森林経営計画作成の支援を行い、適切な森林施業、面的なまとまりを持った施業の構築を図り、集約化施業及び作業路網の改良活動を計画的に実施する。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
森林環境保全緊急間伐事業	森林環境保全のため森林環境税を活用し、森林内の緊急間伐整備の実施を委託する。	計画額	35,969	35,489	35,489	35,489	106,467	農林課
		決算額	24,996					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>災害の防止、自然環境の保全、水源の涵養など多くの恵みをもたらす森林の機能を維持保全するため、施業放置された森林の間伐事業を平成28年度は68.80ha実施した。</p>				<p>奈良県森林環境税の適用期限が平成32年度まで延長され第2期の取組において、施業放置林整備事業(森林環境保全緊急間伐事業)が拡充されており、施業の遅れている森林整備を継続して実施するとともに、近年被害が拡大しているナラ枯れ被害防除事業を推進する。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
民有林造林・県産材 促進事業	<p>林業の振興及び林業就労の場の増大を図り、森林組合の活性化を図る目的で、民有林造林事業に対して奨励補助を行う。造林事業を行うことで、水源涵養、環境の保全、地球温暖化防止等森林の持つ多面的機能を発揮するとともに林家の経済基盤の充実を図る。</p> <p>また、森林を保全整備するため県産間伐材の生産及び有効利用の促進を図るため、搬出間伐に対して補助を行う。</p>	計画額	4,100	4,100	4,100	4,100	12,300	農林課
		決算額	2,825					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>民有造林事業として、主伐後に植林を行うとともに、県産材生産促進事業として搬出間伐により木材の有効利用と雇用・林業経営基盤の充実を図った。民有林造林事業は、平成28年度4.93ha、県産材生産促進事業は、平成28年度638㎡を実施した。</p>				<p>我が国の森林・林業を再生する指針である「森林・林業再生プラン」で目指す木材自給率50%以上を実現し、森林の多面的機能の確保を図りつつ、木材の安定供給体制の確立と雇用の増大を通じた山村の活性化を図るため継続して事業を行う。</p>			油谷 彰浩	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
森林総合保育事業	<p>間伐事業を行い、森林の環境保全及び林業労働者の雇用の確保を図る。</p>	計画額	12,000	12,000	12,000	12,000	36,000	農林課
		決算額	12,000					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>ミニ作業道を開設することで山林作業の効率化を図り、間伐促進により優良な木材の生産と、水源涵養、保水機能等の森林の持つ多面的機能の向上と雇用の確保に努めた。ミニ作業道は、平成28年度は375mの開設を行った。間伐事業は75haの実施となった。</p>				<p>奈良市における人工林は約5,700haであり、多くは間伐適齢期を迎える状況となっているため、年間100haの間伐を目指す。今後も健全な森林育成を図るためミニ作業道の開設と間伐事業を実施する。</p>			油谷 彰浩	

基本施策6-04 商工・サービス業

施策6-04-01 商工・サービス業の振興

施策の展開方向①商工業機能の充実

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
コミュニティビジネス支援事業 【6-01-01①再掲】	<p>奈良の地域特性を生かしたビジネスの起業支援、特に若者による新規起業をメインに、広く支援し、新たな雇用の創出を目的とする。</p> <p>起業家の発掘と育成を行うもので、学生等と起業家との交流会やビジネスプランコンテスト等により、起業に関心のある者の掘り起し、底上げを行う。</p> <p>また、奈良市起業家支援施設「きらっ都・奈良」を起業家支援の拠点とし、起業家の育成を行う。さらに、将来的には同施設を活用した起業家が、市内の空き店舗に入居することにより、地域の活性化を図る。</p>	計画額	13,500	13,500	13,500	13,500	40,500	産業振興課
		決算額	13,500					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>市にワンストップ相談連絡窓口を設置し、連携支援機関と一体となった起業支援体制を強化している。さらに、きらっ都・奈良では、起業家支援事業を実施し、起業風土の醸成に努めている。これまで、30人がきらっ都・奈良への入居をきっかけに起業し、卒業した起業家が市内商店街に出店する等、一定の成果を得ている。平成28年度には、新たな産業と雇用を生み出す成長志向の起業家を育成する「NARA STAR PROJECT」をスタートした。</p>				<p>きらっ都・奈良では、起業に関心のある方等に対し、堅実な起業へと繋げられるよう、引き続き伴走型支援を実施し、起業への障壁を軽減する。また、起業後の方へのサポート体制に課題があることから、地元経済団体や金融機関との連携を更に強化するとともに、起業環境の整備を更に加速化させるため、成長志向型の起業家を育成し、「地域で起業家を生み、育てる好循環（ベンチャー・エコシステム）の確立」に向けた事業を実施する。</p>			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
中小企業資金融資制度	<p>市内中小企業者等の金融の円滑化を図るため、事業に必要な資金の融資あっせんを行い、中小企業者等の成長発展及び振興に資することを目的とする。</p> <p>奈良市中小企業資金融資制度では、市の預託金により金利を引き下げ、また、信用保証料の一部を市が負担することにより中小企業者等の資金調達の負担を軽減し、市内中小企業等の経営の安定や成長を支援する。</p>	計画額	1,339,060	1,237,060	1,237,060	1,237,060	3,711,180	産業振興課
		決算額	1,153,293					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>金融機関同士の低金利競争や企業の業績改善により、信用保証協会の保証承諾件数が減少傾向にあることに加えて、保証協会独自の制度や奈良県の融資制度、日本政策金融公庫による融資等、他機関による公的支援メニューが多様化した影響もあり、平成28年度の奈良市中小企業資金融資制度利用実績は1,301,650千円(290件)と平成27年度の1,815,920千円(386件)に比して減少した。</p>				<p>本制度の利用実績は、前年度に比して、融資件数・金額ともに減少している。中小企業の経営基盤安定のため、より利用しやすいかたちで制度の運用を継続して行う。</p>			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28	H28	H29	H30	H31		
街の商い繁盛プロジェクト事業	<p>近年、市の郊外を取り囲むように大型店が outlet したことにより、既存商店街での消費が大型店へ流出している状況を防ぐとともに、商店街をはじめとする「まちなか経済」の振興を図るため、誘客イベントを開催する。</p> <p>本事業では、市民や観光客に対し商店街や市内中心部の個店の魅力を広め、まちなかでの消費を拡大することを目的に、本市の特産物等を紹介する物産展の開催などの各種の誘客イベントを展開し、中心市街地の集客力の向上と歩いて楽しめる商店街づくりを目指す。</p>	計画額	800	0	0	0	0	産業振興課
		決算額	1,392					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>平成28年度は、JR奈良駅東口駅前広場で、奈良市友好・姉妹・連携都市物産フェアとの同時開催とした。同時開催とすることでコストの削減を図るとともに、集客力向上に努め、2日間で延べ10,000人が来場し、中心市街地への誘客を図ることができた。</p>				<p>平成22年度に第1回奈良まちなか市場を開催し、平成28年度で24回を数える。当時は少なかった地域の商店街等が独自に開催する集客イベントも近年増加し、中心市街地の集客力の向上、商店街の自助努力を促すなど、一定の成果を上げたことから、平成28年度をもって当事業は廃止とする。</p>			花村 淑子	

施策の展開方向②商工業者の経営の安定化

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
ゴミのない商店街推進事業	<p>閉店後に排出される商店街のゴミを統一された容器の中に入れ、観光客の目に触れないようにし、世界遺産都市として恥ずかしくないゴミ対策を行う。</p> <p>なお、ゴミのない商店街推進事業は近鉄奈良駅及びJR奈良駅周辺の商店街から順次拡大していく。</p>	計画額	130	130	130	130	390	産業振興課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>街の美化・衛生面の向上を図るため、中心市街地の商店街だけでなく市内の各商店街代表者に対し、本事業の周知や要望調査をするなど、広報及び啓発に努めた。</p>				<p>他の商店街でもゴミのない商店街推進事業を拡大し、街の美化や衛生面の向上を推進していく。結果、商店街への誘客効果を図り、観光客の回遊性も高め、世界遺産都市に相応しいきれいな商店街にしていく。</p>			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
奈良商工会議所及び 奈良東商工会への助 成事業	<p>商工会議所や商工会は、商工会議所法及び商工会法に基づき、地区内における商工業者の共同社会を基盤とし、商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資することを目的とした地域総合経済団体としての組織である。</p> <p>そのため、本市では、商工業の振興を図ることを目的として奈良商工会議所や奈良東商工会に対して補助金を交付している。</p> <p>本助成事業では、奈良商工会議所や奈良東商工会における経営改善普及事業や市の商工業の振興に効果のある事業に要する経費に対して、50%以内で補助金を交付している。</p>	計画額	13,800	14,100	13,800	13,800	41,700	産業振興課
		決算額	13,800					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>市内の中小の商工業者支援のために奈良商工会議所や奈良東商工会の経営改善普及事業等に対して補助金を交付した。また、奈良商工会議所青年部が行う事業に補助金を交付し、商工業の振興に寄与した。</p>				<p>今後も市内の商工会議所や商工会と連携して本市の産業発展を図る。</p>			花村 淑子	

施策の展開方向③産業の支援と地域経済の活性化

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
コミュニティビジネス 支援事業 【6-01-01①再掲】	<p>奈良の地域特性を生かしたビジネスの起業支援、特に若者による新規起業をメインに、広く支援し、新たな雇用の創出を目的とする。</p> <p>起業家の発掘と育成を行うもので、学生等と起業家との交流会やビジネスプランコンテスト等により、起業に関心のある者の掘り起し、底上げを行う。</p> <p>また、奈良市起業家支援施設「きらっ都・奈良」を起業家支援の拠点とし、起業家の育成を行う。さらに、将来的には同施設を活用した起業家が、市内の空き店舗に入居することにより、地域の活性化を図る。</p>	計画額	13,500	13,500	13,500	13,500	40,500	産業振興課
		決算額	13,500					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>市にワンストップ相談連絡窓口を設置し、連携支援機関と一体となった起業支援体制を強化している。さらに、きらっ都・奈良では、起業家支援事業を実施し、起業風土の醸成に努めている。これまで、30人がきらっ都・奈良への入居をきっかけに起業し、卒業した起業家が市内商店街に出店する等、一定の成果を得ている。平成28年度には、新たな産業と雇用を生み出す成長志向の起業家を育成する「NARA STAR PROJECT」をスタートした。</p>				<p>きらっ都・奈良では、起業に関心のある方等に対し、堅実な起業へと繋げられるよう、引き続き伴走型支援を実施し、起業への障壁を軽減する。また、起業後の方へのサポート体制に課題があることから、地元経済団体や金融機関との連携を更に強化するとともに、起業環境の整備を更に加速化させるため、成長志向型の起業家を育成し、「地域で起業家を生み、育てる好循環（ベンチャー・エコシステム）の確立」に向けた事業を実施する。</p>			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
企業誘致事業	<p>地域産業の発展と雇用の創出を図るため、新規優良企業の誘致を目的とする。 名阪小倉にある民間の開発した区画への誘致を、奈良県と協力しながら行うことにより、継続して企業誘致に努めていく。その他、小規模の未利用地を対象に企業誘致適地の抽出を行い、近年の企業立地動向は芳しくないことを踏まえ、初期投資やランニングコストの軽減等の先進事例を参考にしながら、有効な支援策を検討する。</p>	計画額	0	0	0	0	0	産業振興課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>平成23年度に実施した調査では、都祁地域における大規模造成を伴う企業誘致について、施策としての有効性は低いという結果となった。国際的な競争が激化する近年、安定した企業経営が難しくなり、新たな設備投資に慎重になる企業も多くなるなか、企業誘致以外の市施策についても奈良県と共有するなど、県と連携しながら企業誘致に努めた。</p>				<p>分譲を目指す企業情報等があれば情報提供を行うなど引き続き、奈良県と連携を図りながら、企業誘致に努める。また、他市の取組等を調査し、企業誘致の施策について研究する。</p>			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
お買い物支援サービスサポート事業	<p>平成24年度に郊外型店舗の進出や世帯の高齢化などにより、買い物が困難となっているいわゆる「買い物弱者」の実態・原因を調査するために、65歳以上の世帯を対象に実施したアンケート調査の要望等も含め、集計・分析を行い、その資料を参考にしながら、買い物に対する負担を軽減するための施策を進める。</p>	計画額	0	0	0	0	0	産業振興課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>奈良市内及びその周辺においてお買い物支援サービス事業を展開する事業者の情報をホームページ上で公開し、適時情報を更新する等、周知活動に努めた。</p>				<p>平成25年度に作成した、買い物サービス事業を展開する事業者情報冊子に対する反響を見ながら、国や他市等の支援策を研究し、今後の施策を検討する。また、ホームページ上の情報を適時更新する等、インターネットを活用した情報発信を実施する。</p>			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
なら工芸館の活用	<p>奈良の伝統工芸、伝統産業を継承・発展させるため、なら工芸館にて様々なイベントや教室を開催、情報発信を行うことにより、作り手と使い手・作り手同士の交流を図り、後継者の育成と販路の拡大を目指す。</p> <p>様々な工芸をテーマにした工芸教室を行い、実際に制作を体験し工芸に親しむ機会を提供する。また、多くの人に奈良の工芸品の良さを知ってもらうため、工芸フェスティバルを開催する。奈良工芸後継者育成事業で行っている後継者育成の活動について積極的にアピールする。</p>	計画額	45,200	46,700	46,700	46,700	140,100	産業振興課
		決算額	43,541					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>工芸品の展示や体験教室など、伝統工芸に触れる機会を提供し、情報発信を行う中、平成28年度の入館者数は48,360人であった。また、伝統工芸の後継者育成に取り組むとともに、工芸フェスティバルを通じて、工芸家同士の交流や、作家と使い手との交流を図るなど活性化に取り組んだ。</p>				<p>入館者数を増加させるためのPR等を継続して行うとともに、販路拡大のための効果的な販売戦略等を検討し、工芸品販売の強化策を展開していく。</p>			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
奈良工芸後継者育成事業	<p>奈良伝統工芸の技術・技法を受け継ぐ後継者の減少と、現在の担い手の高齢化が進んでいる。そのため、後継者育成研修制度により、継続した取組を行い、後継者の育成を行う。</p> <p>赤膚焼・奈良漆器・一刀彫等の各分野について1名ずつ3年間、技術・技法を身に付けるために工房主のもとで研修を行う。</p>	計画額	4,080	4,080	4,200	4,320	12,600	産業振興課
		決算額	4,080					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>平成27年9月に第3期生3名が修了し、奈良伝統工芸後継者育成研修修了者数の累計は8名となった。平成27年10月からは第4期生(奈良漆器2名、奈良団扇1名)に対し研修を実施している。平成28年度においては、引き続き第4期生に対し技術・技法を身に付けるための研修を実施し奨励金を交付した。</p>				<p>第4期生が平成30年9月に研修を終了し、新たに第5期生を募集する予定である。引き続き研修生及び研修修了者が後継者として活動していけるよう支援していく。</p>			花村 淑子	

施策の展開方向④人材の育成

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
中小企業人材育成助成事業	<p>中小企業が行う人材育成への支援を行うことにより、その経営の合理化及び技術の向上を図り、もって本市の商工業の振興に資するため、中小企業人材育成補助金を交付する。</p> <p>中小企業が人材育成をするために、独立行政法人中小企業基盤整備機構が設置する中小企業大学校関西校その他適当と認められる機関への役員又は従業員の研修を目的とする派遣を行った場合、受講に要する経費のうち、受講料・寮費等に対し50%の補助金を交付する。</p>	計画額	50	50	50	50	150	産業振興課
		決算額	10					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
平成28年度は1件の申請に対し10千円の補助金を交付し、中小企業の人材育成に貢献した。				経営基盤の弱い中小企業者の経営の近代化及び合理化並びに技術向上を図るため、その人材育成を補助することは引き続き必要である。今後もホームページ等を介して中小企業への情報提供を行い、制度の有効活用を図っていく。			花村 淑子	

基本施策6-05 勤労者対策(労働環境)

施策6-05-01 勤労者福祉の向上・就労機会の確保

施策の展開方向①勤労者福祉の向上

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
奈良市勤労者総合福祉センターの活用	<p>中小企業勤労者をはじめとする勤労者や市民に対し、勤労者総合福祉センターで余暇を利用して教養やスポーツを楽しむ機会を提供し、勤労意欲の向上と健康の増進を図る。</p> <p>センターの適切な運営を行うとともに、語学講座やパソコン研修、各種教養講座の開催と、テニスコート、体育館の貸出し、トレーニングルームの提供を行う。</p>	計画額	44,349	43,682	43,549	43,549	130,780	産業振興課
		決算額	41,322					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
施設の管理と貸館事業を行った。教室については、フラダンスやアロマセラピー、話し方教室等、年間を通じて多彩な教室を開催した。教室参加者数は、平成28年度8,177人で、平成27年度8,494人から減少した。				施設設備の老朽化が進んでいる。施設利用者数は減少しており、貸室稼働率を分析し、施設の活用方法について再検討する。教室開催についても、参加者数が減少しており、市民のニーズを把握し、それに対応した教室の開催を検討していく。			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
中小企業勤労者福利厚生事業補助	<p>中小企業勤労者福利厚生事業への補助を通じ、福利厚生の中で不利になりがちな中小企業に対し共済事業を提供し、中小企業勤労者の福利厚生の向上と、企業活動の活性化を図る。</p> <p>共済事業としては、各種旅行・宿泊割引、レジャー・文化施設・スポーツ施設等の利用助成、健康管理事業、給付金の支給などがある。奈良市総合財団は積極的な勧誘活動を行い、会員の増にも取り組んでいる。市では、これらの共済事業に対し補助を行う。</p>	計画額	39,400	40,300	40,300	40,300	120,900	産業振興課
		決算額	38,334					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>中小企業勤労者のための共済事業に対する補助金を交付した。会員数は平成28年度3,896人で、平成27年度3,897人と比較し増加には至らなかったが、ほぼ同数となった。福利厚生事業としてのイベント参加者数は1,340人で、平成27年度1,489人より減少、補助制度利用についても、平成28年度25,222人で、平成27年度25,937件より減少した。その他給付事業、健康管理事業を行った。</p>				<p>会員数の増加が一番の課題である。そのために共済制度の周知に更に注力し、入会によるメリットを知ってもらうこと、また魅力的な事業を展開することにより、会員の増加を目指す。</p>			花村 淑子	

施策の展開方向②就労機会の確保

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
シルバー人材センター運営支援	<p>シルバー人材センターの活動支援を通じて、高齢者に対し地域で就労機会を確保し、生きがいと生活の安定の提供を図る。</p> <p>シルバー人材センターの運営に対し補助を行い、高齢者が持つ経験と能力を地域での就労につなげるよう支援する。</p>	計画額	12,480	12,480	12,480	12,480	37,440	産業振興課
		決算額	12,480					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>シルバー人材センターの運営に対し補助金を交付した。就業率は、近年積極的に取り組んでいる一般労働者派遣事業を含めると67.1%と上昇傾向にある。会員数は、平成26年度に会費の増額改定により減少したが、平成28年度は1,584人であり、平成27年度とほぼ横ばいである。受注件数は、5,512件で平成27年度5,414件より増加した。また、「お手軽利用サービス」が定着してきており、830件を受注し、平成27年度673件より大幅に増加した。</p>				<p>シルバー人材センターは高齢者の経験を生かした就業の機会を提供するだけでなく、高齢者が地域と関わりを持つための機会を提供している側面もある。就業形態の多様化が進む中で、高齢者のライフスタイルの一つの選択肢としてシルバー人材センターが認識されるように、引き続きセンターの広報に努めるとともに、会員の就業率の向上に努めていく。</p>			花村 淑子	

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
就労支援の促進	<p>若年層の未就労者や失業者の増加に対応するため、就業相談の実施等により就職の促進と職場定着を図る。また、ハローワークや県と連携し、雇用の拡大を目指す。</p> <p>若年者就労マッチング事業や、若者就業相談等を開催し、若者の就業促進を図る。雇用に対する事業者への補助制度や、失業者への支援制度について、ハローワークや県と連携し、広報などの利用により周知を図る。</p>	計画額	100	100	100	100	300	産業振興課
		決算額	87					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価	課題及び今後の方針			課長名		
	<p>平成24年度から若者就労マッチング事業「奈良市福祉職魅力発見バスツアー」を実施している。平成28年度は13名が参加し、事業を開始してから延べ72名が参加した。同事業を通じ、ハローワークとの連携強化が図れている。また、平成26年度以降、県ごと i センターと連携し、年に2回「奈良市ごと無料相談会（キャリアカウンセリング）」を実施している。</p>	<p>相談のみでは直接就職に結びつけにくいのが現状である。ハローワークや県ごと i センター、なら福祉・就労支援センター等関係機関との連携をさらに強化し、具体的に就労に結び付けられるような施策を検討する。</p>			花村 淑子			

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
女性の就労支援事業	<p>女性のライフスタイルと希望に応じて、就業・再就職を目指す女性のステップアップのきっかけづくりを図るため、特に子育て中や子育てがひと段落した女性の就業等に向けたマッチングイベントやスキルアップのセミナー等を開催する。また、地域ぐるみで女性が働きやすい環境をつくるため、特にワークライフバランスを中心とした取組を進めるための体制を構築する。</p>	計画額	0	15,000	15,000	15,000	45,000	産業振興課
		決算額	0					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価	課題及び今後の方針			課長名		
	<p>結婚や出産で離職した子育て世代の女性を対象に、就業相談から企業とのマッチングまでを支援し、59名の新規就労が決定。クラウドソーシングによる就業に関して基礎から実践までのセミナーを実施し20名がクラウドソーシングによる就労を実現した。市内の中小企業を対象に、ワークライフバランスの充実に向けた講演会を実施し46名が参加。起業意欲のある女性を対象に、店舗経営のための講座や、専門家によるフォローアップ、ネットショップ開設のための講座を実施した。</p>	<p>引き続き女性を雇用する企業を開拓しつつ、ハローワーク等の関係機関と連携し、女性と企業のマッチングの機会を創出する。クラウドソーシングセミナーの二期生を募集することで就業者の裾野を広げる。また、スキルアップのセミナーを開催することで、仕事機会の拡大を図る。企業内でのワークライフバランスの定着に向けて、各社内で推進役となるキーパーソンの育成を行い、自主的にワークライフバランスの環境整備を推進できる体制を構築する。</p>			花村 淑子			

基本施策6-06 消費生活

施策6-06-01 消費者保護の推進

施策の展開方向①消費生活相談の充実

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
消費生活相談体制の 充実	<p>複雑・巧妙・悪質化する消費者トラブルに対し、専門の消費生活相談員による相談体制の充実と、消費生活情報ネットワークシステムによる情報収集により、迅速・的確な対応を行う。</p> <p>月曜日～金曜日の午前9時から午後4時まで、専門の消費生活相談員による電話相談及び面談による相談を行う。消費生活に関わる心配事やトラブルについて、相談や業者との間に立ったあっせん、専門機関の案内などを行い、解決を図る。</p>	計画額	13,640	16,206	16,206	16,206	48,618	産業振興課
		決算額	13,119					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>各種研修に積極的に参加するなど相談員のレベルアップを図り相談体制の強化に努めた。平成28年度の相談件数は2,103件であり、平成27年度2,066件に比して37件の増となった。</p>				<p>業務の性質上、被害発生後の対応となってしまうため、出前消費生活講座等の啓発事業の充実により相談件数を抑えたい。また、相談内容が、一度で終わるような簡単なものから、解決までに業者との交渉を要する複雑なものに変化してきている。市民の消費者被害を最小限に抑え、また被害を取り戻すために、相談に迅速、的確に対処できる体制を整えていく。</p>			花村 淑子	

施策の展開方向②消費者意識の啓発

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
消費者意識の啓発と 健全な消費生活の確保	<p>消費者トラブルに巻き込まれないように、市民の消費者問題に対する啓発活動を行い、消費者被害の防止に努める。</p> <p>出前消費生活講座を開催することにより、高齢者の消費者被害の防止を目指し、福祉分野の関係者との連携による啓発事業を行う。またパンフレットやチラシの配布、ホームページでの情報提供の充実により、広く啓発を行う。</p>	計画額	3,899	3,900	3,900	3,900	11,700	産業振興課
		決算額	3,638					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
<p>相談員による出前消費生活講座を、平成28年度は46回開催し、1,631人が受講した。また、駅看板に出前消費生活講座の広告を掲出し、出前消費生活講座の周知に努めた。</p>				<p>高齢者の消費者被害が増えており、その被害を未然に防ぐためには、高齢者だけではなく周りにいる人々に対する啓発が重要となる。福祉分野の関係者に対する情報提供と、連携できる体制を作っていく。</p> <p>また、インターネットや携帯電話の普及により子ども達がトラブルに巻き込まれるケースが増加しており、子ども・若者向けの啓発にも取り組んでいく。</p>			花村 淑子	

施策の展開方向③適正な計量の実施の確保

(単位:千円)

事業名	事業目的及び事業概要	計画年度	実施状況 (平成28年度)	実施計画 (平成29年度～平成31年度)			平成29年度～ 平成31年度 合計	担当課
		H28～	H28	H29	H30	H31		
特定計量器の定期検査	適正な計量の実施を確保し、計量取引の安全と秩序を維持するため、計量法に基づく定期検査を実施する。 計量法に基づき、取引又は証明に使用する特定計量器の定期検査を2年に1度実施する。	計画額	185	263	185	263	711	産業振興課
		決算額	337					
		繰越額	0					
		後期基本計画実施計画期間中の取組内容及び評価				課題及び今後の方針		
平成28年度は、月ヶ瀬・都祁地域の定期検査に当たり、229台のはかりの検査を実施した。予定していたはかりについては廃棄等の分を除き、検査することができた。				「取引又は証明に使用するはかりには定期検査が必要」という認識がまだまだ浸透していない。事業者に対しても、買う側である市民に対しても、検査の必要性についてホームページやしみんだよりなどで啓発を行っていく。			花村 淑子	